

所報

題字: 武田満之校長(平成9年、野幌中学校)

第140号 平成30年8月29日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町24-6 TEL 381-1058

(主な内容)

・平成30年度教職員夏期セミナー実施報告

夏期セミナー実施報告

今年度の江別市教職員夏期セミナーは、7月27日(金)から8月2日(木)まで5日間10講座を実施いたしました。参加人数は419名、江別市教職員全体の7割弱の参加率でした。内容面では全体として「大変良い」「良い」合わせてほぼ9割でした。



7月27日(金)9:30~12:00 市民会館21号室

①「今日的な教育課題」～最新の教育の動向と対応～

講師: 北海道教育研究所 企画・研修部 竹内研究主幹

「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の観点でまとめられた学習指導要領改訂の方向性を常に意識させ、明快な講義構成とスピード感のある進め方は見事でした。

7月27日(金)13:30~16:00 市民会館21号室

②「情報モラル教育」～ネット利用と子どもたちの望ましい生活習慣について～子どもたちの心とからだを育てるために大切なこと

講師: 子どもとメディア北海道 中谷事務局長

発達段階を踏まえた適切な支援、電子メディアの及ぼす悪影響などについて、子育て支援に長年関わってきた経験を基に、優しい語り口で丁寧に説明していました。



7月30日(月)

13:30~16:00 フィールドワーク・バス移動

④「市内巡り」

講師: 文京台小学校 松本教諭 江別第二小学校 一條教諭

江別市内の千古園、ゆめちからテラス、上江別浄水場、郷土資料館を見学しました。ガイド役の一條先生の聡明な解説に引き付けられました。

7月30日(月) 9:30~12:00 野幌中コンピュータ室

③「ICTの日常実践」～さわってみよう ICT～

講師: 江別第一小学校 山口主幹教諭

実践発表: 野幌中学校 横山教諭 小林教諭

渡邊ICT教育支援員、小林教諭、横山教諭、山口主幹教諭の順に普段考えておられることを交え、ICTの日常実践について説明し、後半は参加者が実際に操作しました。





7月31日(火) 9:30~12:00 文京台小理科室・体育館
⑤「体力向上研修」～朝運動プログラムについての内容と実技

講師：北翔大学 増山教授 石井研究員

他県の体力向上の取組や江別市内の「朝運動プログラム」の取組を紹介後、「フルーツキャッチ」「ぐるぐるオセロ」などの実技で汗を流しました。

7月31日(火)
 13:30~16:00

文京台小理科室・体育館



⑥「走り方指導」～ 児童生徒への走り方指導の在り方 ～

講師：北翔大学 大宮准教授

疾走能力についての科学的な分析などを説明後、「ダッシュボールキャッチ」「雑巾がけ」などの実技で汗だくでした。



8月1日(水) 9:30~12:00 野幌公民館 ホール

⑦「チーム学校」～ SSWの効果的な活用について ～

講師：札幌学院大学 横山教授

前半は、横山教授が子どもを取り巻く家庭、学校、専門機関などを「つなぐ」SSWの役割の重要性について説明し、後半は、立場の違う人たちによるパネルディスカッションが行われ、充実した内容となりました。

8月1日(水)
 13:30~16:00

野幌公民館 ホール



⑧「アイヌ民族の歴史と文化」～ 教科書と副教材の内容に即して

講師：北海道博物館 小川アイヌ民族文化研究センター長

北海道博物館のアイヌ文化の展示、教科書などにアイヌ民族がどう扱われているかなどについて説明。特に「アイヌ民族か否かの基準は」との質問に「自己認識」と答えられたのが印象的でした。

8月2日(木) 9:30~12:00 市民会館 第37号室

⑨「小学校外国語教育」～ 移行期だからこそ、考えるべきこと

講師：北海道教育大学釧路校 堀田准教授

前半は、外国語に関する学習指導要領の新旧対照表の比較からこれから求められることを意識させ、後半は具体的な授業イメージを分かりやすく説明していました。



8月2日(木)
 13:30~16:00

北海道立教育研究所附属理科教育センター

⑩「理科実験講座」～ 科学的に問題を解決するための観察、実験の在り方 ～ 講師：飯嶋研究研修主事

ルーペの使い方、植物の吸水と蒸散、鶏の手羽、唾液の働きなどの実験・観察をし、時々参加者から驚きの声などが聞かれました。



「フィールドワーク市内巡り」「ICTの日常実践」の講座では、定員を大幅に超える希望があり、抽選となりました。他の講座を選び直すなど皆様にご面倒をおかけしました。参加された皆様のご理解とご協力に感謝いたします。